

議会だより

No.
182

令和7年10月16日

おながわ

秋だ！運動会だ！

次の100年へ100人の声（第四弾）	10
ズバリ！町政を問う（6議員が一般質問）	12
議員養成塾の成果は	23
サッカーをしよう！Fパッション	24

※表紙の写真説明は裏表紙に記載しています。

9月 定例会

漁業・水産業の さらなる発展を

会期 9月3日～10日

初日に6人の議員が一般質問を行った後、一般議案8件、報告2件、補正予算5件、決算認定7件、発議案2件を審議し、すべて原案どおり可決して閉会しました。



一般議案

契約の一部変更

◇令和6年度万石浦漁港
針浜地区物揚場等整備
工事

・変更前

1億9580万円

・変更後

2億4422万7千円



広くなった針浜かき処理場

大幅な増額の要因は

問

作業船の回航距離の変更で4500万円増額の理由は。

答

契約後に福島発の船から東京発の船になり、距離が94海里から300海里に変更されたためです。

財産の取得

◇女川町消防団第七分団

江島班に配備する消防

車両購入

・小型動力ポンプ付軽積

載車1台

・取得金額

951万5千円

財産の処分

◇寺間地区災害公営住宅

1棟売却処分

・2階建て3DKタイプ

・取得金額

788万3千円

問

橋が架かる前と後での評価額は、昨年12月の架橋開通により条件が変わったことでの金額の差はありますか。

答

これまでの離島と橋がつながったことでの比較の結果、若干、土地の価格は上がっています。

条例の制定

◇女川町職員の育児休業

等に関する条例の一部改正

改正

◇女川町火葬場条例の一部改正

部改正

発議案

◇女川町出島遺跡の調査

と保存活用に関する意見書

見書

◇OTC類似薬の公的保険外し・給付制限の中止を求める意見書

物価高騰対策に 1人 5,000円の商品券

補正予算

歳入歳出にそれぞれ1億6284万円を追加し、予算の総額を、116億4812万9千円としました。

主な内容は次のとおりです。

- ◆歳出
- ◆経済活性化商品券事業負担金 ①へ 2950万円
- ◆保育所幼児教育学習支援業務委託料 ②へ 180万5千円
- ◆新型コロナウイルスワクチン接種助成金 200万円
- ◆すばらしいおながわを創る協議会補助金③へ 90万円
- ◆備蓄用食糧購入費 420万円
- ◆温泉管理費修繕料 450万円
- ◆漂着廃棄物収集運搬処分業務委託料 ④へ 1400万円

①物価高騰対策で 12月に商品券

問 1人5000円の商品券を5900人に送付する際に、世帯ごとにすれば経費が浮くのでは。

答 通常の郵便と違い今回は金券なので、一人ひとりに確認しながらの送付になります。



待ちに待った商品券

町民の声

何もかも値上がりで大変、5000円は助かりますね。



70代女性

②保育所、小学校との 連携を密に

問 5歳児を対象とした基礎学習とはどういう内容で、小学校側との連携や内容のすり合わせは。

答 平仮名の読み書き、数字、ブロック使用の学習支援です。子ども園への対応として、保育に幼稚園教育を加味するため、学校、保育所含めて保小連携会議を行っています。



お勉強は楽しいね

③花いっぱい運動は ぜひ継続を

問 海岸の国道39号線沿いの歩道に花を植える事業ですが、花いっぱい運動は継続していくことが必要では。

答 花いっぱい運動を継続するための財源としてふるさと納税も検討したいと思います。



花いっぱいのまちづくりを

人事案件

◆教育委員会委員
次の方を任命することに同意しました。
新福悦郎氏（石巻市）任期
令和7年10月1日～
令和11年9月30日

第4回臨時会

臨時会は7月29日に開催し、原案どおり可決しました。

一般議案

財産の取得

◆温泉用高揚程水中ポンプ1台

・金額 968万円

・相手方

東北ボーリング

株式会社

契約の一部変更

◆小型漁船船揚場

改修工事

・変更前

3億8768万9千円

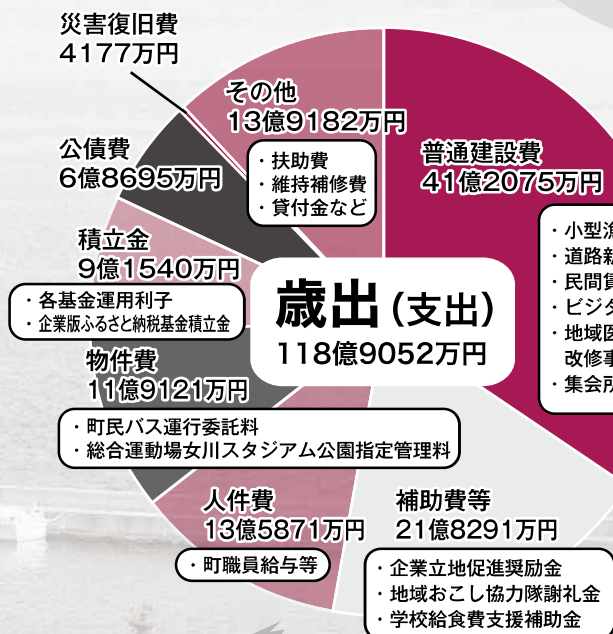
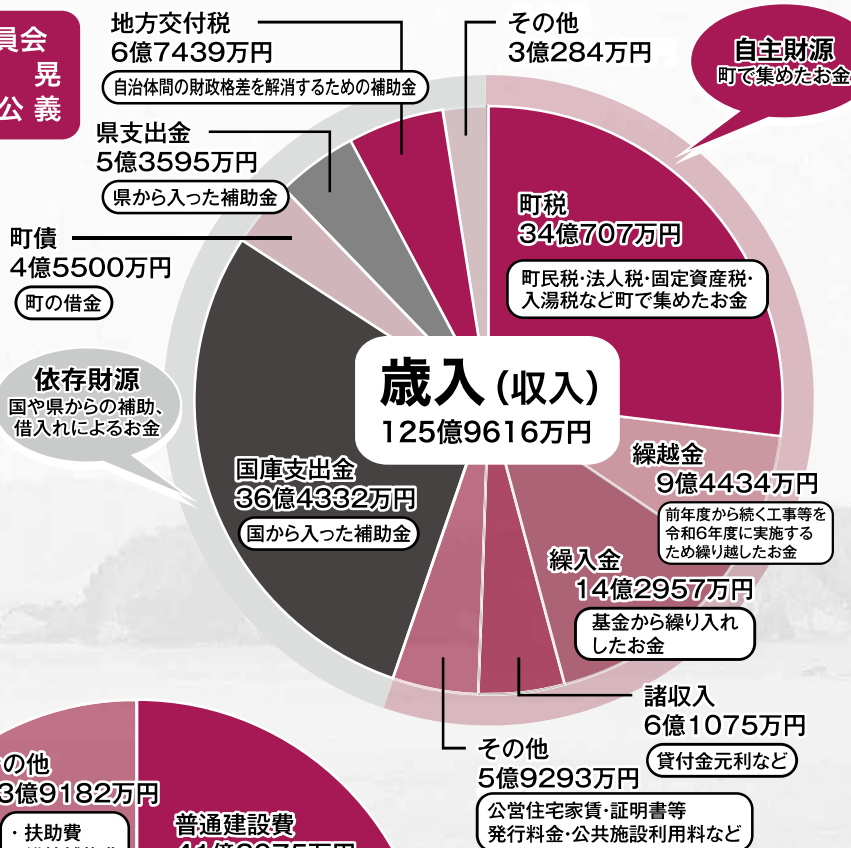
・変更後

4億7525万2千円

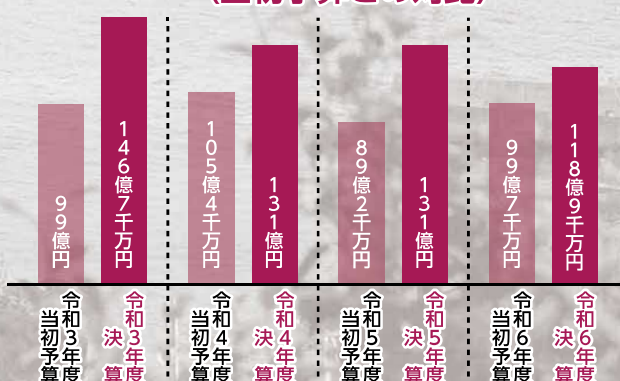
一般会計決算の説明

令和6年度の一般会計決算は、令和5年度から9.2%程度減少しました。その要因として、減額は出島架橋建設事業費や原子力災害対策施設整備費の減少が主なものです。増額は企業立地促進奨励金や浦宿15号線外道路改良工事などが主なものです。

決算審査特別委員会
委員長 高野 晃
副委員長 鈴木 公義



一般会計決算の推移 (当初予算との対比)



背景は
「海のそばで暮らす」

撮影者：菊地 彩
撮影地：寺間漁港

9月定例会 決算審査

震災後では 最小の決算額に

決算審査特別委員会概要
9月4日から9月9日まで令和6年度一般会計や地方卸売市場など4つの特別会計、それに公営企業である上下水道事業会計の決算が審議され、それぞれの原案どおり認定されました。

一般会計決算 118億

令和5年度比 9.2%減

9052万円

ギカイ Check①

このままでいいの？ 町民税未納者への対応は

これまで、督促状の送付や電話での催促等を行っています、納付につながらず未収額が積み上がっています。うっかり忘れた方への電話対応も含めて早めの徴収を行いながら未収額を減らす対策を図ります。



ギカイ Check②

温泉利用を促進して コロナ前の水準に

入湯税の推移から見ると温泉の利用者数はコロナ禍前の7割程度までしか回復していません。ゆぼっぽの利用者を増やすために、指定管理事業者が高齢者やスポーツ団体と連携しながら経営していきます。



ギカイ Check③

公営住宅使用料 の回収強化は

公営住宅家賃の滞納者は、30名を超える方が固定化されている状態です。今年度から回収の対策として、夜間訪問を実施しています。さらに町営住宅家賃滞納の事務要綱を作成して、督促状の送付や保証人の招致、最終的には法的な部分も視野に入れて対応していきます。



“町のお金” あなたはどのように考えますか？



60代男性

バランスの取れた予算配分ですが、思い切った政策で他の自治体にはない特色のある町づくりを。

みんなで育てる 未来への投資

歳出

返礼品目を増やすための努力

問 ふるさと納税の返礼品を充実させ、品数を増やすべきでは。

答 宿泊や飲食等、金券的に使える“コト消費”にも力を入れ、10月をめどに20品目程度申請しています。

ふるさと応援寄附謝礼品



581
万円

体験やサービスを楽しむ消費へ

実証的な取組を

問 スマートモビリティ関係、今後の方向性は。

答 モビリティ研究会の中で町民バスの利便性向上に対する意見の集約、先進モビリティの利活用について検討を進めていきます。

スマートモビリティ実証事業



みんなで育てる公共機関

保育士の負担4割削減に成功

問 連絡アプリの活用による保育士と保護者の利便性向上の方針は。

答 保育士の負担にならない範囲で、写真や動画を活用した情報発信を行いたい。現在使用している機能の充実にも可能な限り対応する考えです。

保育業務支援システム構築業務委託事業



1430
万円

円滑な連携で安心向上

町民の声



連絡手段として、保護者にとっても使いやすい。先生たちの負担が4割削減されていることも嬉しいです。

30代女性

町民の声



距離がある人にとっては、バス停までも大変。玄関から玄関を叶えてほしい。

60代女性

QRコードでの収納サービス

問 現在は固定資産税と軽自動車税のみ納付が可能です。他の税目について拡充していく考えは。

答 各税目で対応ができるように、改修等をしていきます。

コンビニ収納サービス



44
万円

支払いが簡単で手間削減

安心とにぎわいのある町へ

水道料金どうなる…

問 施政方針で値上げを表明してから2年が経ちます。現時点での見解は。

答 コスト増の現状を踏まえ、適切な時期や方法を整理し、議会と相談しながら進めます。



周辺自治体では約20%値上げも

包括的な補助制度の検討を

問 太陽光設置補助金、蓄電池への補助を決断すべきでは。

答 蓄電池やトリプルサッシ等、予算編成前までに素案を出し、検討を深め進めていきます。

太陽光発電システム設置補助



163万円

災害時も電力を確保

ホームページによる積極的な広報を

問 海岸広場の情報が更新されていません。活動内容の積極的な発信を。

答 事業者や行政、指定管理者が協力し、新たなイベントの誘致や利用促進に取り組んでいきます。

海岸広場指定管理



町の魅力やにぎわいを広くPR

町民の声 停電時に電気が使える蓄電池は命綱。初期費用が高いなと思っていましたが補助金があるなら前向きに考えたい。 20代男性

『監視の目』が大きな効果

問 漁業施設等の監視カメラ、効果は。

答 出島と寺間にそれぞれ5台設置し、犯罪の抑止に効果があると考えています。被害の報告がないことがその効果です。

沿岸漁業振興対策事業費補助



176万円

防犯カメラで犯罪抑止

町民の声 子どもから大人まで楽しめるイベントがあって嬉しい。町内外の人にもっと魅力を周知してほしい。 40代男性

みんなが誇れる町に

学校施設の保守点検を徹底

問 屋内体育館のバスケットゴールに不具合がありました。保守点検の充実を。

答 学校にも、子どもの安全を守る義務があります。学校の授業時や教員による、日頃からの点検を徹底し、不具合があった際には、委託点検を待たずに対応します。

学校管理



安全に使える学校施設に

利用者目線での施設管理を

問 総合運動場の管理運営に至らない点が見えます。しっかりと対応を。

答 雑草や時計の不具合ほか、問題がありました。常日頃から指定管理業者に指導しながら、利用者が心地よく利用できる環境づくりを第一に指導強化に努めます。

総合運動場及び女川スタジアム公園指定管理



7814
万円

きれいな環境で気持ちよく

保護者も教員も負担減に

問 給食費無償化は全国的な流れです。本町でも、全生徒無償化を考えてみては。

答 現時点では徴収していますが、小学校については、国で給食費無料化との報道もありました。その場合は中学校も含め、前向きに検討したいと思います。

学校管理



楽しく、いっぱい食べてね

町民の声 大会等で町外の方も来場しています。恥ずかしくないよう綺麗にしてほしい。



20代女性

利用者を増やすための工夫を

問 利用者数が減ってます。利用料や設備情報の周知方法を強化すべきでは。

答 電話での問い合わせは、時代にそぐわないと思います。必要最低限の情報はホームページに載せ更新する等の対策をとります。

生涯学習センター管理



2714
万円

ホールは412名収容

町民の声 無償化に紐づけ、みんなに育ててもらっていることも教えてほしい。



40代女性

令和6年度 一般会計決算

認定

賛成8人 反対2人



QRコードから動画が見られます
討論は6分05秒から

討論

私はこう考える

賛成

町民の暮らしを
第一に 持続可能な
町づくりを

宮坂千尋 議員
令和6年度の町の決算では、歳入・歳出ともに前年度より減少しましたが、支出を抑える工夫が行われ、限られた財源を有効に活用することで必要な施策が着実に実施されました。

物価や光熱費の高騰が町民生活や事業活動に影響を及ぼしましたが、効率的な執行により、事業を中止することなく継続できたことは大きな成果です。
町民の暮らしを第一に考えた予算執行が行われ、持続可能な町づくりへの確かな一歩となったと評価していることから、賛成いたします。

反対

原発に依存せず
再生可能エネルギー
中心のまちづくりを

阿部律子 議員
女川原発は再稼働されましたが、これ以上核のごみを増やすべきではなく、女川を半永久的な核のごみ捨場にしてはなりません。これからの行政の在り方は「原発に依存しない、漁業、水産業の

振興に力を入れると共に、再生可能エネルギーの普及に取り組みまちづくりを」と強く主張します。
地球温暖化対策へ町全体で意識を高めつつ、蓄電池への補助、緊急通報システムの普及に努められたい。学校給食無償化の自治体が広がっている中、本町は財力がああり、全員への補助ができるのに一部のみの補助には反対します。

特別会計決算の主なもの

国保

国民健康保険税の法定軽減

問 7割・5割軽減世帯は減少、2割軽減世帯は増加していますが、どう分析していますか。

答 全般的に世帯数と保険者数が減少している事が影響しており、7割・5割軽減が減少、2割軽減が増加の部分は軽減者の中で異動があるものと考えています。

保健基盤安定繰入金

43万円 + a 以下

43万円 + (30.5万円 × 被保険者数) + a 以下

43万円 + (56万円 × 被保険者数) + a 以下

a = (給与所得または公的年金等所得がある人の数※ - 1) × 10万円
※給与所得または公的年金等所得がある人の数が1人以下の場合は1として計算。

所得に応じて軽減されます

国民健康保険税の法定軽減とは
前年の総所得金額が基準額以下の場合に保険税の均等割額と所得割額が軽減されるものです。

介護保険

施設に入れてよかった

問 特別養護老人ホームおながわでここ1年間の入所人数は何名で待機期間は。

答 定員50名に対して、47名が現在入居しています。令和6年度中に入居された方は21名です。待機期間は把握していません。

保険給付



要介護3以上の人が対象

町民の声



施設の方に丁寧に接してもらって、ありがたいです。

50代男性

連載企画

町制施行
100年

次の100年へ
100人の声

議会と町民
が一体に

女川町は令和8年4月に町制施行100年をむかえます。次の100年に向けた町民100人の声を5回に分けて連載する企画の第四弾です。町民には、こんな町になってほしい、町に力を入れてほしい分野などの声を掲載します。議会が町民と一体になり、さまざまな声を傾け議会活動に反映して町のさらなる発展に貢献していきます。



保育所・小学校の学費が
かからない町

横山 彪雅さん 宮ヶ崎



「永住の地」とここに決めて、住んで
良かったと実感できる町づくりを

横内 静子さん 清水



100年後も災害に負けずみんなで助け合う町になってほしい

木村 かいと 海友さん 女川南



働きやすい町に
なってほしい

グエン ティ ハさん 清水



若い世代が定住し続ける
ために魅力と活気溢れる町に

阿部 遥さん 女川南



新しいことに挑戦する人を
応援できる町になってほしい

大平 直人さん 浦宿三



海だけじゃない！里山の魅力の配信に期待！

木村 ゆかりさん 針浜



すべての人がワクワクを
持って生活できる町に

丹野 真人さん 西



地域の山を守っていこう！

遠藤 成さん 清水



笑顔、元気、夢、希望
あふれる女川町

さくらい ひろき
桜井 宏樹さん 浦宿三



広くたくさんの人が遊びに来る魅力ある町に

すずき てつや
鈴木 哲也さん 上二



全町民が希望を持って
生きられる町づくり

おおかば てつや
大壁 由機さん 女川北



笑顔と楽しさが
溢れ続ける町へ

なりた けいすけ
成田 圭佑さん 西



冬に花火をあげてほしい

おか あさひさん 西



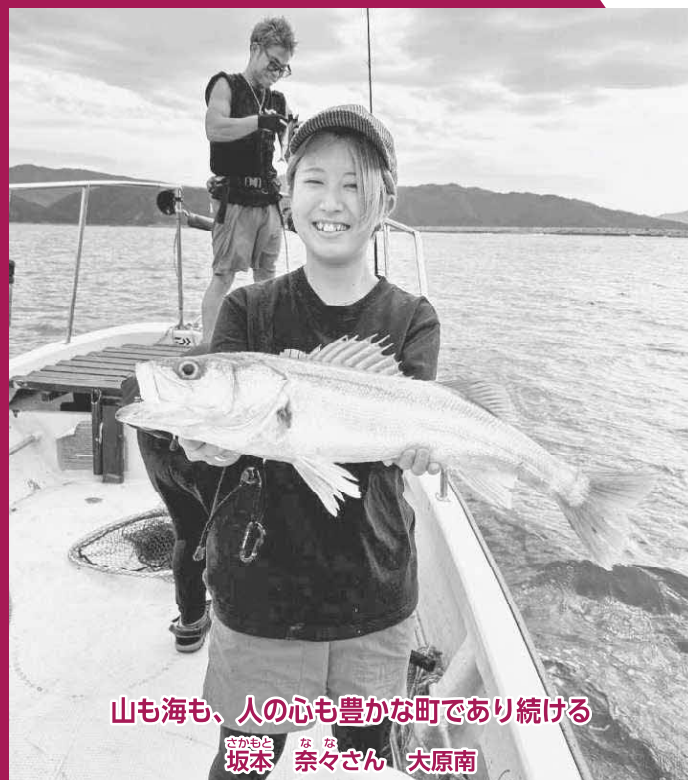
行政区の役員を若い人が
出来るようにしたい

むらかみ かずお
村上 和雄さん 上一



大人も子ども
芸術に触れる町へ

ひだか あい
日高 未羽さん 大原北



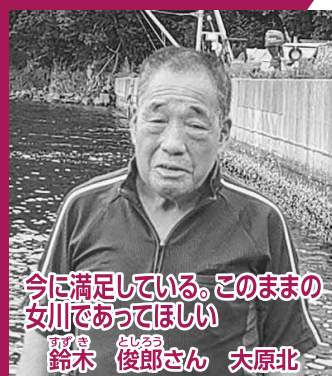
山も海も、人の心も豊かな町であり続ける

さかもと なな
坂本 奈々さん 大原南



サッカーチームが強くなり、いつまでも続いてほしい

おがわ しゅうた
小川 柊太さん 清水



今に満足している。このままの
女川であってほしい

すずき しろ
鈴木 俊郎さん 大原北



水産業の発展の為、大企業の誘致や
陸上養殖等の積極的な推進を

さいじょう としみ
齋藤 俊美さん 宮ヶ崎

一般質問

一般質問は、町政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

6 議員が質問

ズバリ

町政を問う

隅田 翔議員…………… P 13

- (1) 指定避難所での防災機能強化を
- (2) 夏の遊び場として水辺の設置を

阿部 薫議員…………… P 16

- (1) 遠地津波の対応と課題

宮坂 千尋議員…………… P 14

- (1) 災害時の防災組織・体制の確立を
- (2) 観光客に一目で魅力を伝える工夫

阿部 律子議員…………… P 17

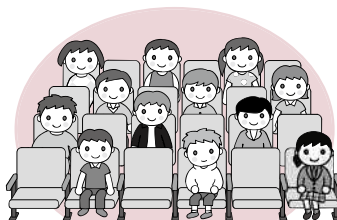
- (1) 乾式貯蔵施設の了解に厳しく抗議
- (2) 給付型を含めた奨学金制度拡充を

高野 晃議員…………… P 15

- (1) 住民の不安に寄り添う原発行政を
- (2) 加齢性難聴に問題意識を

鈴木 公義議員…………… P 18

- (1) 地域イノベーションの推進は
- (2) 海難殉難者慰霊碑の復旧を
- (3) スケボーパーク等の維持管理は



議会の傍聴はどなたでもできます。

※ 各ページのQRコードから一般質問の動画が見られます。

※ 3問目の一般質問は、紙面の都合上、見出しのみの掲載としています。

次回の定例会は12月15日からの予定です。

なお、議会中継は女川町議会ホームページで配信しますので、ご視聴願います。

詳しくは、町議会事務局(電話54-3131内線312)へお気軽にお問い合わせください。

隅田
すみた

翔議員
しょうぎん



問 指定避難所での防災機能強化を

答 よりよい避難所運営に努めます

答弁者 町長、企画課長

7月30日の朝にカムチャツカ半島付近で地震が発生し、本町を含めた太平洋沿岸で津波警報により避難指示が発令されました。そこで伺います。

問 総合体育館の避難所運営では暑さ対策が課題と感じました。総合体育館内にエアコンの設置や熱中症対策として冷却パック等の備蓄品の確保が必要では。

答 体育館には3台の冷風機がありますが、エアコンの設置については、



暑さ寒さに強い避難所体制を

コスト感や実際の運用などを含めて可能性を議論していきます。また、停電時等の暑さ対策のための冷却パック等の備蓄も検討します。

問 今回の事象を受けて、避難行動や避難所生活における課題と今後の対策について伺います。

答 避難行動は、概ねスムーズであったと報告を受けていますが、総合体育館への食料等の備蓄という課題がでてきましたので備蓄を検討します。

問 夏の遊び場として水辺の設置を

答 遊具寄贈者の意向等も確認します

答弁者 町長、教育長、町民生活課長、健康福祉課長、産業振興課長、教育局長

気候変動などの影響により気温が上昇し、自治体として、これまで以上の対策が必要と考えます。そこで伺います。

問 夏場でも子供たちが涼を感じながら遊べる場所として、マッシュパイク付近に噴水等の水辺を設置しては。

答 マッシュパークの遊具との親和性や水の使用による施設周辺への影響等も考慮しつつ、遊具寄贈者の意向を確認します。



夏場でも町内に遊べる場所を

問 運動施設で夏場に活動している団体向けに、ミストファン等の設置が必要では。

答 これまでの熱中症対策を継続し、空調設備が未設置な施設は、設置を検討します。

問 高齢者等の生活困窮者に対して、エアコンの設置及び修理に対する助成の検討は。

答 エアコン設置及び修理に対する助成の導入は予定しておりませんが、状況を注視し必要性が生じた場合には検討します。

みやさか
宮坂

ちひろ
千尋 議員

問 災害時の防災組織・体制の確立を

答 地域の防災力の向上に努めます

答弁者 町長、企画課長



カムチャツカ半島付近で地震が発生し、太平洋沿岸に津波警報が発令されました。

問 自治体ラインをスマートフォンと自動連携し、迅速な正確情報発信を。

答 一つのツールでは登録者が限定されるため、複数の手段を複層的に実施することで最大限の情報発信に努めていきます。

問 災害時も途切れない日常として生理に配慮し、避難所の生理用品備蓄と確実な提供を。

答 備蓄倉庫には備蓄していますので、避難期間などその時々状況で対応します。

また、女性職員を避難所に配備して可能な限りプライバシーに配慮して提供します。

問 避難所運営は職員だけでなく地区住民の声も反映し、未知の災害に備える行政責任を。

答 今回の避難所運営に携わってもらった地域の皆さんの意見も伺い、今後に生かしていきます。



防災訓練時住民周知と登録促進を

問 観光客に一目で魅力を伝える工夫

答 デジタル化での情報発信を模索

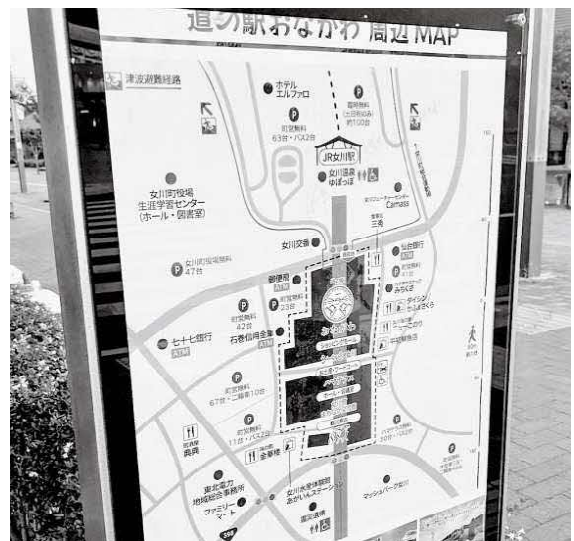
答弁者 町長、産業振興課長

地域全体の賑わいを生むためには、道の駅内外の連携や全体の魅力の見える化が必要です。

問 道の駅エリアに入っていない周辺店舗の情報を提供する仕組みは。

答 観光協会が町内全域を網羅した散策マップやウェブサイトで各店舗の情報を提供しています。

問 視覚的にわかりやすい食品サンプルでの案内は、撮影やSNS発信にもつながり有効では。



視覚的にわかりやすい仕組みを

答 食品サンプルは、客の目を引く有効な手段ですが、展示場所の確保が課題であり、店舗が主体的に行うものと考えます。

問 デジタルサイネージやQRコード等を用いて、一目で伝える仕組みについて導入の検討を。

答 デジタルサイネージは屋外での管理や設置場所、QRコードはスマホが必要など各々に課題はありますが、情報発信や回遊性の向上に繋がる方策の一つとして設置が可能か模索していきます。

あきら
晃
議員



答 使用済燃料の早期搬出を求めます



答 事業者の責任としてあらゆる手段をもって敷地外に搬出するとの回答を受けています。

ましたか。

圖 東北電力の阿部正信
原子力部長が「乾式貯蔵
施設は一時的な貯蔵施設
であり、責任をもって敷
地外へ搬出します。」と
話されていました。ど
のような根拠で搬出に責

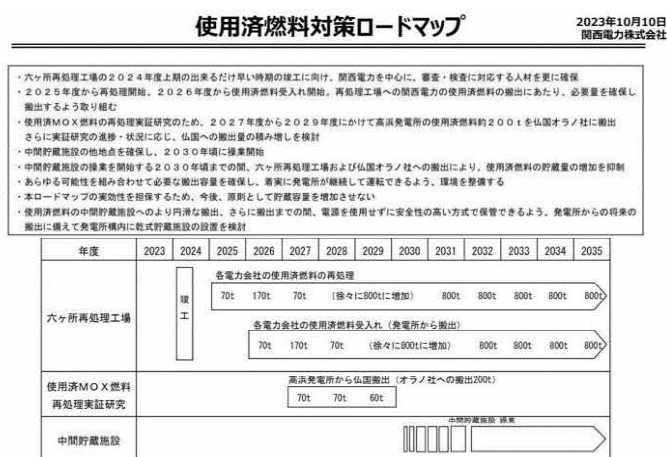
答 警察や自衛隊、海上保安庁などの関係機関との連携を密に厳重な警備を行うと聞いています。

岡 女川原発は、特重施設も完成しておらず、無防備な状態にあります。ドローン等への対策は。

悴というものは、割り振られていないものと認識しています。

答 六ヶ所村再処理工場での
女川原発の使用済燃料の
再処理枠はありますか。

発電所ごとの再処理



関西電力の使用済み燃料搬出計画

答 今後実態把握に努め検討します

答弁者 健康福祉課長

を直接伺っていません。

岡 補聴器は、未だ高価
です。穏やかに生活する
うえで、補聴器、收音機
の利用は効果的です。東
松島市なども65歳以上の
身体障害者手帳を交付さ

答 健康福祉課や地域包括支援センターの相談窓口では高齢者からの補聴器の購入助成を求める声

図 加齢性難聴によって生活等に支障をきたしている方は、この2年間でどのような変化がありましたか。

問 耳が聞こえづらい方への対応として軟骨伝導イヤホンを導入する自治体や企業も出ています。本町でも検討されていますか。

答 未だ導入設置の考えはありません。

予防・日常生活圏域ニ
ズ調査等により高齢者や
介護者のニーズ等の実態
把握に努め検討します。

答 今後実施予定の介護購入補助制度の創設を。女川でも補聴器・收音機購入補助を行っています。れていない方への補聴器



役場窓口にもイヤホンの設置を

問 遠地津波の対応と課題

答 災害備蓄の充実を図っていきます

答弁者 町長、企画課長、総務課長、産業振興課長



7月30日に発生したロシアのカムチャツカ半島付近を震源とした地震により、太平洋側などに出た津波注意報は警報へと切り替わりました。町内ではイベントが開催されており、来町者が多く見られました。混乱も少なく高台避難が進められたと感じています。

東北大学災害科学国際研究所の担当者によると、遠地津波は周期が比較的長く水面変化もゆっくりであるが、津波のエネルギーは大きく海岸に近づく流れが速くなり、河川の逆流や船舶を押し流す力になるとのことです。幸いにも町内における被害はありませんが、今後の対応策や課題について伺います。

町内の各避難所における避難者の動向、総数と備蓄品の調達は万全でしたか。

避難行動は概ねスムーズであり、避難者総数は1074人です。

総合体育館への食料備蓄等の課題が生じたので、備蓄を検討します。

遠地津波は県内各地で観測、その到達時間や津波の高さはさまざまであり、状況変化に合わせた対応が求められます。夜間や土日、祝日における職員の当直勤務を廃止し外部委託した後は、どのように対応するのか伺います。

職員は、非常（警戒）配備態勢編成計画に基づき、その災害の種別に応じて自動的に参集するため、宿日直業務とは別の対応であり、民間委託による影響はありません。

賛否両論ありますが船舶の沖出しの状況は。

また、町内設置の検潮所を活用した安全で確かな潮位変動情報を提供すべきではありませんか。

津波警報を機に、町内で3トン以上の船舶35隻が沖出しをしています。また、検潮所は4か所ありますが、津波高を測れる正確性はなく、公表には不向きと考えます。



地区集会所で避難者受け入れ



警報発令直後に定置網船沖出し



問 乾式貯蔵施設の了解に厳しく抗議

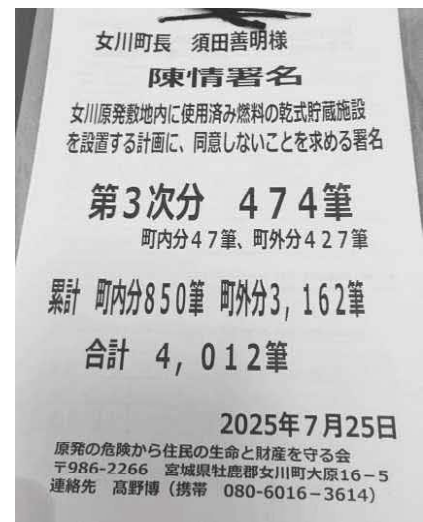
答 安全性の確保を確認しての同意

答弁者 町長、企画課長

今回の「了解」は女川原発の敷地を半永久な使用済燃料の貯蔵場所に道を開いたもので、厳しく抗議するものです。

図 住民団体は「女川原発敷地内に使用済燃料の乾式貯蔵施設を設置する計画に同意しないことを求める陳情署名」を提出。第3次分で合計4012筆。その内で町内分は850筆ですが、陳情内容や署名数をどう受け止めていますか。

答 最終処分場的な扱いになるのではということ、を皆さんが懸念される点も十分理解しています。



多くの住民の声が届かず残念

図 了解に至るまでの経過や、県、石巻市との情報共有等をお示し下さい。

答 県、市と共同で発電所への立入調査等を行うなど、随時適切な情報共有を図ってきています。

図 「一時的」期間を曖昧にせず、保管期間等を定めた計画書の提出を求めるべきではないですか。

答 適切な期間を定めることは困難と考えます。

反問 (町長)

図 乾式貯蔵が安定的に保管するものとしては認識共有できるのでは。

答 そこは確認できますが、長期保管につながるので良いとは言えません。

問 給付型を含めた奨学金制度拡充を

答 貸与型を継続していく

答弁者 町長、教育局長

町内では、NPO法人が太陽光発電の収益を活用し、一部ですが、給付型の奨学金制度を開始し、今年で丸7年になり、延べ129人に奨学金を給付しています。

また、県内の大和町でも奨学金の負担軽減を実施していますが、少子化の中、子育て、教育の支援の一環として、給付型を含めた奨学金制度の拡充を検討する時期に来ているのでは。

図 町独自で、例えば屋根貸し等による収益を活用して、一部給付型の奨学金制度の拡充を図ってはいかがでしょうか。

答 安定的な財源を確保する事業は、不確実性が高いと考えています。今後も給付型ではなく貸与型を継続していきます。

図 町内に就職した場合、奨学金の一部を減免する制度を検討してはどうでしょうか。

答 定住支援策等の対策は重要と考えています。関係課と十分な情報共有を行っていきます。

大和町が奨学金の返還を支援します！！

大和町奨学金返還支援補助金

上限(1年あたり) 10万円 × 最長 5年間 = 最大 50万円

大和町に定住・就業する若者を応援！

大和町に居住しながら、宮城県内に就職し奨学金の返還を行っている40歳未満の方に対し、1年間の返還額に応じて補助金を交付します。詳しくは、町ホームページ(URL)をご覧ください。 QRコード



町内に定住・就職すれば支援金を

鈴木 すすき

公義 公きみよし
議員



問 地域イノベーションの推進は

答 公民連携のもと鋭意努めます

答弁者 地域イノベーション推進課長



100周年ロゴマーク決定！

今年度より、地域イノベーション推進課が新設されました。まもなく半年が過ぎようとしていますが、これまでの取り組みを伺います。

問 ふるさと納税に関して、これまでの納税額の実績と、今年度からの担当課として新たな取り組みや目標設定等を伺います。

答 令和5年度は約2903万円、令和6年度は約2380万円の寄附額となっております。今年度は目標額を3300万円と

し、地域団体との連携を強化して新たな返礼品の開発や広報活動を展開します。

問 町制施行100周年事業に係るこれまでの取り組みと、今後のスケジュールを伺います。

答 今年度は100周年記念ロゴマークの募集を行い、10月に決定、周知する予定です。来年度は6月に記念式典を予定しているほか、夏から秋にかけて復興大感謝祭や、大規模な記念イベントの実施を検討しています。

問 海難殉難者慰霊碑の復旧を

答 関係各団体と認識を共有して協議

答弁者 町長、産業振興課長



人知れず佇む慰霊碑

問 東日本大震災前の平成21年に民間の寄付により建立された海難殉難者慰霊碑は、震災復旧、復興工事のために仮移設をしました。しかし、未だ女川町市場買受人組合冷凍庫の敷地の一角に建ったままになっています。慰霊碑本来の意味を持たせるためにも、海岸広場等皆さんの目につく場所に設置すべきと考えますが、見解を伺います。

答 慰霊碑建立の中心だった実行委員会組織は既

に解散し、震災による移設後も管理や今後の取扱いの協議も特段行われずに今日に至っています。全て寄附を財源にした民間の所有物ですが、移設の希望があれば、行政として場所の調整を含め支援をしたい考えです。

現時点で意向を確認する相手先がないため、今回の件を町内の関係団体と共有して、今後受皿となる団体を中心に慰霊碑をどうしていくべきか協議していきます。

問 スケボーパーク等の維持管理は

答 施設の適正な運用・管理に努める

答弁者 町長、産業振興課長

調査内容

7/9~7/10

玄海原子力発電所に対する 玄海町議会と九州電力の 取り組みについて



原子力が果たす役割を調査

調査概要

(1) 玄海町議会の取り組みについて

- ・主に乾式貯蔵施設と使用済核燃料税を議題とし、使用済核燃料税に関する財政効果と使途について調査した。
- ・具体的に、使用済核燃料税の充当先については、道路改良や小中一貫校の建設等、町の財政基盤強化と住民サービスに幅広く充当されている。
- ・課税導入までには3年間を要しており、財政への影響については、使用済核燃料税は安定的な税収と捉えられているが、使用済核燃料の搬出時期が未定のため、長期的な見通しとしては「永遠に保管するものではない」との見解が示された。
- ・文献調査の意義については、大規模償却資産からの県への税収吸い上げがない状況であり、町としては潤沢な財政力を持つことができている一方で、町内産業における財政力は低い現状であり、これらも踏まえながら文献調査を受け入れ、日本のエネルギー供給において原子力が果たす役割を国民に問いかける「突破口」と位置づけている。

(2) 玄海原子力発電所の安全対策の取り組みについて

- ・当該発電所は1975年10月より運転を開始し、1号機、2号機、3号機、4号機を建設、出力は合計347kwである。1号機は2015年4月に、2号機は2019年4月に運転を終了した。
- ・東日本大震災後、新規制基準をクリアするために運転を見合わせていたが、安全対策工事完了後、2018年3月に3号機、同年6月に4号機が再稼働をしており、日本の原子力発電所の中ではとても早い再稼働となっている。
- ・当該発電所は、安全確保の三原則に基づき、「止める、冷やす、閉じ込める」が基本で、「ペレット」、「燃料被覆管」、「原子炉容器」、「原子炉格納容器の多重バリア」で放射性物質の閉じ込めを行っている。新規制基準の概要については、安全対策の実施状況各種想定の見直しや、地震・津波想定の見直しが実施されており、冷却手段や電源供給手段の多様化も併せて図られている。
- ・その他の対策については、水素爆発防止策、緊急時対策棟の設置、特定重大事故等対処施設の建設、最大40基可能な乾式貯蔵施設の建設等の安全対策を講じている。

調査結果

玄海町では、使用済核燃料税が町財政の重要な柱となっており、令和5年度には5億500万円の税収を見込み、当初予算の4.75%を占めている。平成29年度の導入以降、課税額は増加しており、今後10年間で46億円の税収が見込まれている。この税収の使途は、道路改良、小中一貫校建設等に充当されている。本町においても、玄海町の先進事例を参考に、使用済核燃料税の早期導入を強く推奨する。

また、玄海町は、文献調査を日本のエネルギー供給における原子力の役割を国民に問いかける「突破口」と位置づけ、原子力施設を持つ自治体として、エネルギー問題を国民的議論とすることが重要であるとの考えを提起している。本町としても、最終処分場問題への理解を深め、町民との意見交換を継続することが重要であり、文献調査の意義を伝え、将来のエネルギー政策について、町民全体で考える機会を創出していくべきと思量する。

玄海原子力発電所については、今まで視察した原子力発電所の中では一番と言えるほど、原子力建屋や、構内緑地帯等を含めて管理運営されていることが垣間見えた。住民への透明性の高い情報公開を継続的に実施していること等、女川原発においても大いに参考にすべきと認識した。

玄海原発の1号機、2号機における廃炉作業は、今後、女川原発の将来的な廃炉計画にとって貴重な先例として参考にしていきたい。

調査内容

女川町の 観光振興について



調査概要

(1) 本町における観光客誘致の実態と課題について

- ・女川町の観光振興について、みらい創造自体は、シーパルピア、ハマテラスの管理運営や各テナントのマネジメントを行う会社であるため、イベントや観光振興に関しては、観光協会や四季の祭り実行委員会に委ねていることがわかった。

道の駅「おながわ」は、休日を中心に賑わいがあるものの、平日の賑わいが乏しく、各店舗の売れ上げも少ないのが現状である。

解決策として、特産品である海の幸を活かした体験型コンテンツやユニークなメニュー開発等の必要性について意見が出された。

- ・また、観光振興の効率化には、観光協会とみらい創造を一本化することで、経費の節減やよりインパクトのあるプロモーションが可能となる。
- ・安全対策としての防犯カメラ設置や広報面では、防災無線やSNSをより柔軟に活用し、町民や観光客への情報発信を強化することが肝要である。

(2) 静岡県伊東市、道の駅伊東マリンタウン視察について【6月23日～6月24日】

年間200万人以上の観光客が訪れる施設に関する視察を行った。

- ・大小様々なイベントを多く開催している。
- ・経営ビジョンの明確化と従業員、テナント経営者との共有による連携強化を図る。
- ・温泉やサウナ、水産加工品の販売や飲食店といった多様なサービスの提供による、お客様満足度の向上を目指している。



年間200万人以上の観光客で賑わう

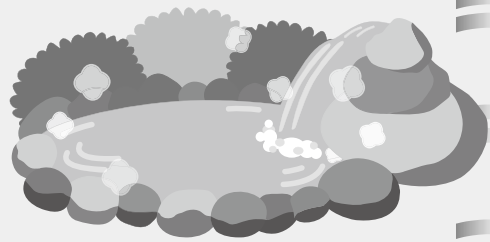
調査結果

今回の調査で得られた知見は、女川町の観光振興を検討するうえで、非常に有益なものとなった。今後、視察先の成功事例を参考に、女川町ならではの魅力と強みを活かした観光振興策をより具体的に検討していく必要がある。

- ・女川の道の駅、海の家、温泉、飲食、物販等を組み合わせた複合的な観光施設（ゆぼっぼやマッシュパーク等の遊具施設）の強化と既存施設の連携を深め滞在時間の延長や消費の増加が期待できる。
- ・道の駅伊東マリンタウンでは、テナントの入れ替えがないほど充実していることから、本町でも、事業者との密接なコミュニケーションを通じて、長期的なパートナーシップを築くことやテナント側の意識改革も重要である。
- ・「来てみたら楽しかった」と感じてもらえるような多様で魅力的な事業が必要で、本町としても、以前からある財産のスポーツイベントや総合運動場との連携、黒森山や石投山等のトレイル等と温泉・食事をリンクさせる多角的な発想が必要不可欠である。
- ・本町観光振興事業の中で、宣伝が足りていないという指摘が以前からあることから、さまざまな媒体を駆使し、観光事業のPRを強化することが肝要である。
- ・今後の大きな課題としては、観光振興の明確なビジョンと地域貢献のあり方、そして、わかりやすい組織体制の強化が重要になってくる。

調査内容

温泉水の 利活用について



調査概要

本委員会は、温泉水の利活用について調査を行った。

令和7年4月16日（水）、町民生活課から本町の温泉水の湧出量及び泉質等について説明を受けた。一日あたり47トンの温泉水が使用されずに排水されている。泉質としては、pH 8.8の低張性アルカリ性温泉で塩分濃度の高い温泉水であり、体内に入れるものとしての活用は難しいとのことであった。

また、以前から「女川時間」という美容液、ミスト、ハンドクリームが女川温泉ゆぽっぽで販売しているとの報告があり、本町の温泉水を長野県で加工し商品化しているとのことであった。

令和7年6月3日（火）、町民生活課から4月16日に示した課題点等の確認結果について説明を受けた。美容商品「女川時間」シリーズの販売に至った経緯や温泉水を飲用として利用することの難しさ、さらにはハウス栽培や養殖業での活用の可能性は低いことが示された。

令和7年8月28日（木）、福島県西塩原村ある会津山塩企業組合の視察を行った。古くから温泉水を利用して塩を作ってきた地域であったが、塩の専売制度が始まってからは長く行われていなかった。

近年、村おこしの一環として「塩づくり」を再開、組織としての企業組合もスタートし、全工程を手作りで行うこと、サステナブルな取り組みとしての塩づくりを行うこと、こだわりの味わいを作り出すことで会津山塩は地域の特産品となっている。

一方で、塩づくり事業は、塩害による生産施設の痛みが進みやすいことなど問題点も多く、事業継続していくための採算性が課題となっているとのことであった。



女川温泉ゆぽっぽ

調査結果

会津山塩企業組合での温泉水を煮詰めて作る製法により、海水から作る塩とは風味が全く違ったものになる。全てを手作りで行うこともあり山塩は評判を呼んでいるが、塩を作るためには温泉水の成分特性や販売する際の採算性といった課題もあり、本町の温泉水を利用した製塩を町として実施することは困難であると考えられる。



会津山塩企業組合への視察

温泉水を利活用するため、温泉水から商品開発を実施（検討）する民間事業者を見つけ、協働して進めていくことを模索しながら、これまでは女川温泉ゆぽっぽのみで販売されていた「女川時間」商品の美容液やミスト、ハンドクリームの販売促進を図ることや、ふるさと納税の返礼品として活用するなど、既存商品の販路拡大や知名度の向上を進めることが必要である。

宮城県町村議会議員セミナー

8/4

議員活動に役立つハラスメント対策

講師：株式会社メンタル・リンク代表取締役社長 宮本剛志 氏

地域課題の解決に邁進しつつ、住民の議会への関心を高めていけるようにするため、議員の資質向上を図ることを目的に宮城県町村議会議長会が主催するセミナーに参加し、研鑽を深めました。

ハラスメントとは何か、こういった行動や言動がハラスメントにつながるかなどを、事例に基づくロールプレイングを交えて学び、相談対応が必要な場合の言葉の発し方や場面の作り方を学びました。



ハラスメント対応を勉強中

7/11

長崎県松浦市議会との意見交換

～海水温上昇、漁獲魚種の変化に伴う現状の取り組みについて～

アジの水揚げ日本一、フグやエビの養殖も盛んな松浦市の議会議員と、地球温暖化の影響下における水産業の取り組みについて意見交換を行いました。

松浦市議会議員と、磯焼け対策や新魚種への対応、次世代漁業者育成といった水産業についてそれぞれの取り組みを話し合い、漁業の活性化や地元事業者が将来的に持続していくことができる水産業の在り方について、熱心に協議しました。

佐藤良一議長、北海道、東北町村議会議長会の会長に就任！

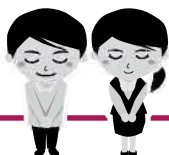
北海道と東北6県を代表する議長として、全国町村議長会の会議等に出席し、町村議会の活性化を図っていきます。

全国町村議長会の「町村議会の制度に関する検討委員会」の委員長にも就任し、議員のなり手不足や地方議会議員の処遇など、全国の町村議会が抱えている諸問題の解決に全国の町村議会議長とも連携を図りながら取り組んでいきます。



行政視察 受け入れ状況

他市町村議会議員の皆様が女川町を視察に訪れました。



7/18

子育て環境の充実について

宮城県美里町議会

女川町地域医療センターに設置された「じょっこおながわ」や女川町が実施する子育て関係事業について視察を行いました。美里町議会議員からのじょっこおながわの利用状況や実際の対応についての質疑に、地域医療センター職員が説明、子育て支援の実施について検討されていました。

8/5

東日本大震災以降の地域防災力の強化と子育て支援事業について

熊本県玉東町議会

玉東町議会議員が女川町の防災や子育て支援に関する視察を行いました。担当職員が説明を行った後、質疑を実施。津波災害への備えや防災意識の向上、子育て世代の住民数や支援制度、出生率に関する事など、多くの質問がされました。

女川町議会

議員養成塾

8/21 議会での一般質問の仕方

第三回の議員養成塾には、6名の参加と富谷市議会議員1名の視察がありました。

「一般質問について議会の流れ」と題し、資料とパワーポイントを使い質疑との違いや準備から作成のポイント、注意点、本会議場での質問の進め方などの説明を行いました。

その後、参加者全員に一般質問についての思いを発言していただき、みんなで共有しました。

また、富谷市議会議員の方から、前回選挙では無競争となったのでこういった取り組みに問題



意識を持ったとの意見がありました。

総じて今回は、全員参加型の議員養成塾となりました。

9/3 9/10 議会の傍聴

第四回の議員養成塾は、受講者の皆さんが9月定例会の本会議と決算審査特別委員会を傍聴しました。

道について理解を深める機会になりました。



9/18 議員になるには ～立候補から初議会まで～

第五回の議員養成塾には6名が参加しました。

最終回は、議員を志した理由から選挙戦、初めて議場に立つまでの歩みを話しました。

地域の声を市政に届けたいとの思いから立候補を決意。限られた時間と人員での選挙戦は大きな挑戦でしたが、多くの町民の応援に支えられて議会へ送り出してもらいました。



初議会では緊張感と責任の重さを強く感じましたが、その経験が今も議員活動の原点です。

今回の講話を通じて、議会や政治をより身近に感じていただけたのではないかと思います。

閉校式 ～ふりかえり～

議員養成塾の閉講式が行われました。

参加者からは、次の声が寄せられ、学びと交流の場として高い評価をもらいました。

- ・重要なポイントをおさえたプログラムで充実した学びを得られた。
- ・議員の人柄や専門性を知ることができた。
- ・議会の仕事は定例会だけではないとわかった。

・それぞれ議員さんの話を直接聞けてよかった。

この経験を今後の議会活動に活かし、より開かれた議会をめざしていきます。



女川で輝いている人、団体を紹介しています。

＊ ラ キ ラ ・ い き い き 草サッカー。 フットサルを 楽しむ団体

F. パッション



第2多目的グラウンドにて

1998年から活動が始まり、今年で27年目になります。小学生から大人まで、フットボールを愛する人たちが集まって汗を流し、ボールを蹴っています。

世代間交流の場としても

まらず活動が中止するとも度々ありますが、NEでの連絡等で凌いでいるところです。
サッカーしたいなと思う方は一度見に来てください。



フットサル大会を開催

震災後の2015年からはフットサル大会を開催しています。コロナ禍で数回開催を見送りましたが、2月と8月の年2回開催しています。参加は8チーム前後で、手づくりの大会をこれまで16回ほど開催しています。

議会より

コバルト・レ女川がJFL昇格を目指して頑張っているところです。サッカーの盛り上がりには裾野の拡大が重要と考えます。
皆さんの活動が本町のスポーツ振興と、スポーツ文化の醸成につながることを思料されます。



大会なつかしピンナップ (2016)

表紙説明

しおかぜ保育所運動会

10月4日、しおかぜ保育所の運動会が行われました。「元氣いっぱい頑張ります！」と誓った子どもたちの一生懸命な姿はとても立派でした。
スポーツの秋。体を動かすことの楽しさを感じながら、健康づくりを進めてほしいです。



委員長 隅田 翔
副委員長 阿部 律子
委員 宮坂 千尋
高野 晃
鈴木 公義
佐藤 誠一
発行責任者 佐藤 良一
議長 佐藤 良一